

【ふく習】

漢字には「口」のように、一つだけで一つの字を表すものと、「休」や「胃」のように、左と右、上と下など、いくつかの部分からできているものがあります。

その部分のうち、主に、その漢字の意味を表しているものを部首といいます。部首には次のようなものがあります。

- イにんべん……休・体・作
- 門 もんがまえ ……開・間・門
- 心 こころ ……息・意・急
- シ さんずい ……池・深・洋
- 文 のぶん ……数・放・敗
- 広 まだれ ……広・店・庫
- 返・週・遠

【練習】

部首と漢字を組み合わせてできた漢字を下に書きましょう。

言	口	シ
	田	女
	山	心
斤	开	売
矢	之	

答え

形読 近医 安思

【ぶく習】

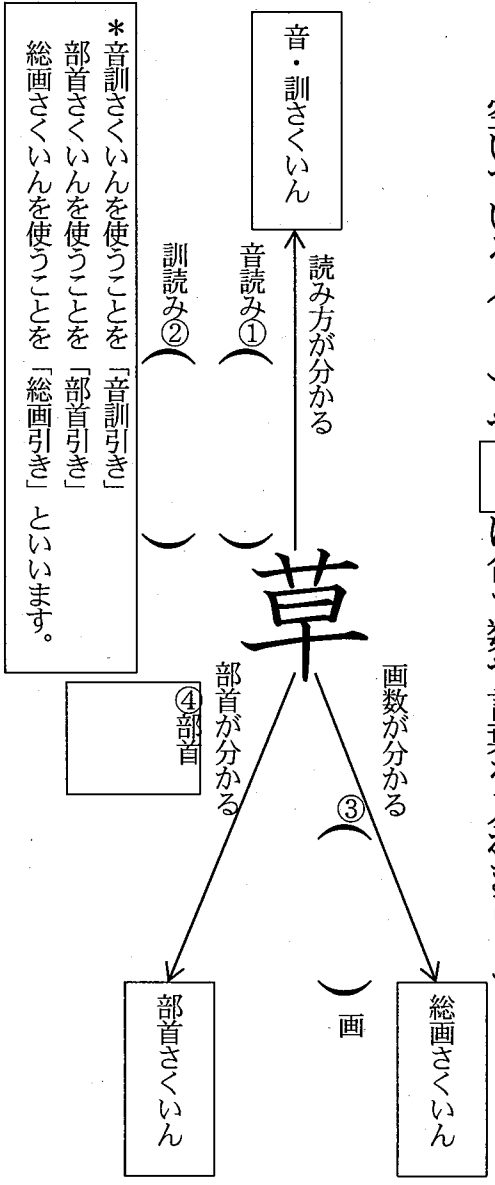
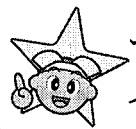
音読み・訓読みとは？

山

「サン」……音読み ↓ 昔の中国語の発音にもとづくもの
「やま」……訓読み ↓ 日本語を当てて読んだもの

【練習】

一 漢字辞典で分からない漢字を調べます。たくさんの漢字の中からどうやって見つけた漢字をさがしたらいいのでしょうか。空いている()や□に合う数や言葉を入れましょう。



「未」という字は五画で書くね。→⑤ () 引き

「札」という字の部首は「きへん」だね。→⑥ () 引き

「録」という字は「ロク」と読むね。→⑦ () 引き

二 次の漢字を総画引きで調べます。何画になるかを()に書きましょう。

① 弓 () 画 ② 世 () 画 ③ 臣 () 画

④ 包 () 画 ⑤ 楽 () 画 ⑥ 泳 () 画

答え

- 一 ①ソウ(そ) ③九 ④ヤ ⑤総画 ⑦音訓
- 二 ①三 ②五 ③七 ④五 ⑤十三 ⑥八

- ⑥部首 ⑦音訓

【ふく習】

練習を始める ↑ 活動などを新しくスタートするとき
 初めて聞く話 ↑ 時間や時期が早いとき

【練習】

次の — の漢字を送りがなに気をつけて [] に書きましょう。

① 山にのぼる。
 話題にのぼる。

② 夏はあつい。
 お茶があつい。

③ まるい地球
 まるいテーブル

④ 虫がなく。
 弟がなく。

⑤ なかよくする。
 なかに入る。

⑥ 場所をかえる。
 家にかえる。

⑦ 手をあげる。
 持ちあげる。

⑧ 二つにわかれる。
 友だちとわかれる。

⑨ ふたをあける。
 夜をあける。
 あなをあける。

答え

⑤ ④ ③ ② ①
 中 泣 丸 熱 暑 上 登
 く く い い い る

⑨ ⑧ ⑦ ⑥
 空 明 開 別 分 上 挙 帰 変
 け け け れ か げ づ る え
 る る る る る る る
 る

【ふく習】

前の文と後ろの文、語と語、段落と段落のつながり方をはっきりさせる言葉を接続語（つなぎ言葉）といいます。

- ・おなかがすいた。だから、おやつにバナナを食べた。
- ・「おなかがすいたこと」（前の文）が、「おやつにバナナを食べたこと」（後ろの文）の理由になるときには、だからを入れます。
- ・今日は暑い。しかし、木かげはすずしい。
- ・「今日はあついこと」（前の文）が、「木かげはすずしいこと」（後ろの文）の反対になるようなときには、しかしを入れます。
- ・パンを食べた。また、ごはんも食べた。
- ・「パンを食べたこと」（前の文）に、「ごはんをたべたこと」（後ろの文）を付け加えるときには、またを入れます。

【練習】

一 ①～③の [] に、前の文と後ろの文のつながり方を考えて、「だから」「しかし」「また」の接続語（つなぎ言葉）を選んで入れましょう。

① 運動会に向けて、毎日、おうえん合戦の練習をした。

おうえんの部で一位になった。

② 運動会に向けて、毎日、おうえん合戦の練習をした。

おうえんの部で一位になれなかった。

③ 運動会のおうえんの部で一位になった。

リレーでも一位になった。

二 次の文を接続語（つなぎ言葉）「だから」「しかし」「また」を使って二つの文に分けます。 [] に続きを書きましよう。

① 明日はプール開きなので、水着の用意をした。

明日はプール開きだ。

② 明日はプール開きだが、天気予ほうは雨だ。

明日はプール開きだ。

③ 明日はプール開きがあることに加え、陸上練習もある。

明日はプール開きがある。

一 ①だから

②しかし

③また

二

①だから、水着の用意をした。

②しかし、天気予ほうは雨だ。

③また、陸上練習もある。

「ふく習」

漢字には意味があります。一つ一つの漢字がもつ意味から、熟語の意味を考えることができます。

例えば、「新年」は「
しい年」
「親友」は「
しい友だち」と考えられます。

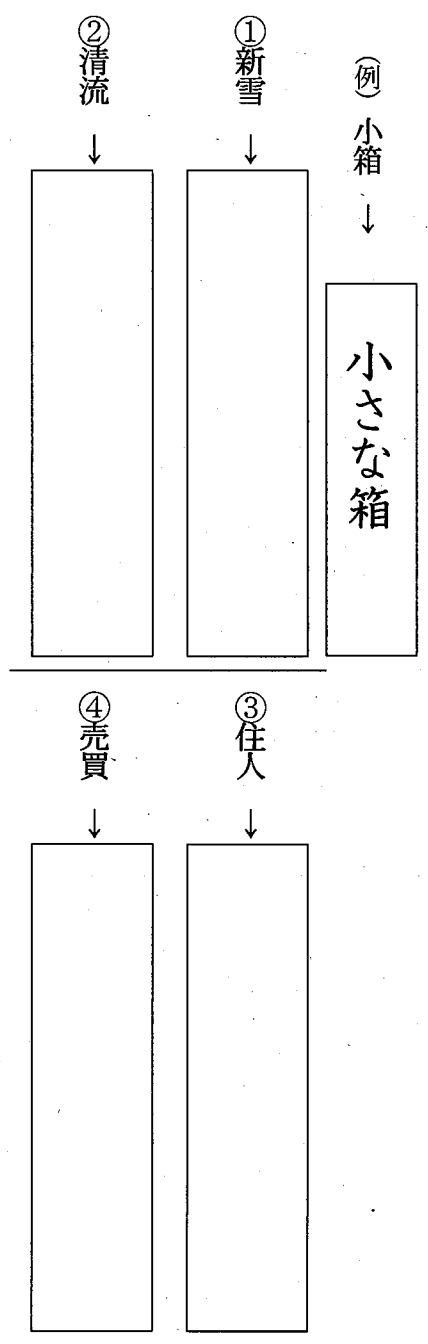
「練習」

一 次の熟語の漢字の組み合わせは、ア～ウのどの組み合わせでしょうか。合うものを線で結びましょう。

- ① 回転
- ② 強弱
- ③ 愛犬
- ④ 岩石
- ⑤ 明暗
- ⑥ 星空

- ・アにた意味をもつ漢字の組み合わせ
- ・イ反対の意味をもつ漢字の組み合わせ
- ・ウ上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ

二 訓読みを手がかりにして、次の熟語の意味を考えましょう。



答え

「ふく習」
新(しい)
親(しい)



- 一
- ①新しい雪 (任む人)
 - ②清い流れ (清らかな流れ)
 - ③任んでいる人 (任む人)
 - ④売り買ひすること (売ったり買ったりすること)

【ふく習】

生きていく上でのちえや教えを短い言葉や言い回しで表したものを「ことわざ」といいます。「ことわざには、にた言い回しがくり返されているものや、教訓が表されているものなど、同じような持ちようをもつものがあります。

「犬も歩けば棒に当たる」のように、動物が出てくることわざもたくさんあります。

意味

何かをすれば思いがけないさいなんにあう。
また、何かをやってみれば、思いがけない幸運にあう。

【練習】

一 次のことわざは、動物が出てくることわざです。□に当てはまる動物を

□から選んで書きましよう。

③	②	①	⑤	④
		に真珠		のいを借りきつね
	も木から落ちる。			の手も借りたい
の耳に念ぶし				

さる　ねこ　とら　ぶた　馬

二 一の問題の①～⑤のことわざを使って文を作ります。合うことわざを□から選

んで、□①～⑤を書きましよう。

ア 漢字が得意なお姉ちゃんが、「初」という漢字を間ちがえた。これって、
□だね。

イ 引っこしのじゅんびで大いそがしのお母さんが、
□と言っていた。

答え

- 一
- ①ぶた
 - ②さる
 - ③馬
 - ④とら
 - ⑤ねこ
- 二
- ①ア
 - ②イ
 - ③
 - ④
 - ⑤

【ふく習】

「拳」という字は、何と読むでしょう。
 「選挙」「手を挙げる」のようじ。
 「きよ」「あ」と読みます。
 「拳手」は、() と読みます。

「必」という字は、何と読むでしょう。
 「必然・必勝」「必ず」のようじ。
 「ひつ(ひつ)」「かなら」と読みます。
 「必要」は、() と読みます。

【練習】

次の漢字の読み方を に書きましょう。

① 努める 努力	② お便り 便利	③ 最も 最高	④ 省く 反省	⑤ 試みる 試合
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑥ 例をあげる 例え	⑦ 成る 成功	⑧ 刷る 印刷	⑨ 新米 米ぐら 米作	⑩ 喜ぶ 歡喜
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【読み方】

きよめ ひつじ

【読み方】

- ① りんご・りんご
- ② かんり・たす
- ③ りんご・もじ
- ④ ひんせん・はが
- ⑤ じよ・じよ
- ⑥ れい・た
- ⑦ せいじよ・な
- ⑧ じんじよ・す
- ⑨ じんご・じんご
- ⑩ せ・かん

答え

【ふく習】

「覚」という漢字は、この部分に気をつけて書きましょう。

覚

こうではないよ。

×



【練習】

一 次の漢字には、たりないところがあります。正しい漢字を完成させて□に書きましょう。また、()の読み方を()に書きましょう。

① 達 ↓ 配 □

③ 機 ↓ 械 □

② 博 ↓ 物館 □

④ 議 ↓ 案 □

二 送りがなの正しいものを選んで□に記号で答えましょう。

① もつともよい方法

□
ウイア
最 最 最
最 最 最
も とも とも

② 友だちとわかれる。

□
ウイア
別 別 別
別 別 別
か か か
れ れ れ
る る る

三 ———の言葉を漢字で書きましょう。送りがなが必要なものもあります。

① じしんをもつ。

□

③ きぼうする。

□

② やさいを食べる。

□

④ 木のめが出る。

□

答え

一

- ① はい たつ ・ 達
- ② は く ぶ つ か ん ・ 博
- ③ き かい ・ 機
- ④ ぎ あ ん ・ 議

二

- ① イ
- ② ア

三

- ① 自信
- ② 野菜
- ③ 希望
- ④ 芽